

子どもの豊かな育ちを支援する学校事務を創る

とちぎの研修体系

ねらい

教育目標達成のため、学校経営ビジョンの実現に向けて学校経営に積極的に参画できる事務職員の能力開発のシステムを構築する事により、効果的な人材育成を実現します。



相互連携・相互補完

各組織が研修目的や、情報を共有した上で、お互いの役割を果たすことで、効果的・効率的に能力を身に付けます。

研修の検証サイクル

研修の検証を行い、各組織が支援体制を整えることで、確実に学校での実践に結びつき、組織力、学校力の向上につなげます。

栃木県公立小中学校学校事務職員研究協議会

ステージ別研修

自己マネジメント研修(1~3年目)

研修に参加する前の自分は、仕事がい積みになってしまうこと、旅費事務が苦手であることが悩みだった。グループ演習を通して、同じステージの事務職員と課題を共有することができた。そして、目標達成のための具体的な計画を立て、実践後振り返って次に繋げる重要性を学ぶことができた。先輩事務職員の実践発表や話し合いを通して、手帳を使って年間の見通しを立てることや、業務メモを活用することを学ぶことができた。そこで、締め切りを記入する年間カレンダーや、業務や行事実施後の反省点を生かして自分専用のマニュアルを作成することを自分の目標とした。業務の合間カレンダーやマニュアル作成を少しずつ進めた結果、今では仕事の流れを把握しやすくなり、苦手だった旅費の事務もマニュアルを確認しながら着実に進めることができるようになった。自己マネジメントを意識するきっかけを得ることができ、大変有意義な研修となった。

(教頭先生より) 本校の主事は、4月に採用になり仕事に追われ、また事務室にいるため、職員とのコミュニケーションがとりにくい状況があった。自己マネ研修を受講したことで、業務日誌をつけたり、先を見通した予定を作成したりすることで心の余裕ができ、職員とのコミュニケーションをとることができるようになった。そのことで、仕事もスムーズになり、さらには、悩みなどが話せる機会が増えたことにより、自信を持って職務にあたるようになった。

組織マネジメント研修(4~9年目)

研修を受け、組織の一員として働く必要性大切さを学ぶことができた。そこで、全校児童が縦割り班で地域へ出向き、職業体験をする行事において、教員が負担していた物品の発注を事務職員が担い、併せて物品一覧表を作成した。

(校長先生より) 本校のキャリア教育の一環である地域での縦割り班活動の実施に向けて、教職員は児童の指導はもとより、外部受け入れ先との交渉、ボランティアとの連絡調整、さらに、消耗品等の購入、班ごとの準備及び練習、という一連の流れで毎年取り組んでいる。このような中、今年度研修を受けた本校主事は、教員が担っていた消耗品等の発注を一手に引き受け、さらに、必要物品一覧表を作成し、発注の漏れを防ぐとともに、予算の管理ができるよう改善し、事務職員としての専門性を発揮した。その結果、教員の負担が軽減されたことにより、児童への指導が、よりきめ細やかにできるようになった。

学校組織マネジメント研修(10~19年目)

私は、これまで事務評価の結果から事務改善計画や事務経営計画を作成してきた。今回の研修で学んだことを生かすため、市の研修会で中堅事務職員4名が自校の学校評価を持ち寄り、事務部長に関わることで改善できそうな課題を見つけ、改善策について話し合った。一人では思いつかないアイデアや、ベテラン事務長さんからのアドバイスを受けることができた。それらをもとに、学校で管理職や担当教員と相談し改善に取り組んだ。導入されたタブレットをさらに授業の中で有効活用させるため、事務部長で講師を手配し、教員への研修継続的なサポートを実施し、その結果、様々な教材において、授業の幅が広がり子どもたちの興味関心を引き出すことができた。学校や子どもの声に耳を傾け、積極的に教職員と関わることで、学校が活性化するのを感じた。

戦略マネジメント研修(20~24年目)

研修を受講して学校が組織として機能するためには、「事務経営計画」の作成が必要不可欠であると感じた。早速、組織としての事務部の運営を意識し見直しを図ってみた。本校では、2年間計画で校舎の大規模工事が予定されていたため、2年後の完成の全体像を見越して、「安全安心に過ごすことのできる環境づくり」に事務部の重点を置き、教職員の意向を十分に取り入れた校内環境づくりに取り組んだ。

工事に関する学校からの要望や進捗状況等の把握確認、工事業者との打合せ参加、そこで得た情報の全職員での共有化など、計画に基づいて実践する中で、教職員には、不慣れな中でも安心・安全に児童指導にあたってもらうことができた。工事終了後は、児童職員共に、これまでより校舎設備を大切に扱おうとする雰囲気が出てきている。事務部長が機能することで、連携や情報の共有化が校内の協働体制強化に繋がっていくことを改めて実感することができた。

栃事研では、各組織との連携による研修の実施や、支援体制をより一層充実させることで、事務職員一人一人の資質能力の向上、組織力、学校力の向上につなげていきます。